CSA Japan Congress 2025プログラム

13:00～13:05	**開催挨拶（本日のプログラムのご紹介）　寺尾敏康　CSAジャパン事務局**
13:05～13:35	 **基調講演1　大和敏彦　CSAジャパン副会長** **「AIの進化と課題」** AIの進化は続いており、活用は急速に広がっている。一方、汎用人工知能の実現という統合と、SLMによる展開、フィジカルAIと呼ばれる自動車やロボットエッジへの展開等分散化の流れもできている。AIの進化に伴う課題として電源問題や、サイバーセキュリティの問題も生じている。これらの動向から、今後の方向を考えてみたい
13:35～14:05	 **基調講演2　笹原英司　CSAジャパン代表理事** **「海外事例から俯瞰するクラウドネイティブ環境のAIセキュリティ」** CSAがSTAR/CCMを通じて支援してきたシンガポール政府のサイバーセキュリティ認証制度は、今年より、OTセキュリティとAIセキュリティに拡張されました。本講演では、LLM、AIインベントリ、API管理、AIインシデント対応など、AI固有のセキュリティ管理策に焦点を当てて、クラウドネイティブアーキテクチャとの関係や欧州AI法とのハーモナイゼーション、STAR for AI活用の方向性について概説します。
14:05～14:20	**休憩**
14:20～14:50	 **WG 講演1　小川隆一　AI WG** **「CSAのAIセキュリティガバナンスに対する取り組み」** クラウドを基盤とするAIシステム・サービスは普及の兆しを見せています。CSAでは2025年にはいり、提供するセキュリティフレームワークのAI対応を進め、AIを実装したクラウドのセキュリティ統制、AIによるコンプライアンス自動化等のフレームワークとツールを公開しています。本公演では、これらの概要、およびCSAジャパンの取り組みについて説明します。
14:50～15:20	 **スポンサー協賛講演1　蓮井雅弘氏　ファイルフォース株式会社 プロダクトマーケティング部　事業推進担当部長** **「データレジリエンスの観点から　～クラウドストレージに求めるべき要件とは？」** ランサムウェアが猛威を振るう今、クラウドストレージに求めるべき要件とは？ 23,000社を超える法人企業導入実績を誇るクラウドファイルサーバーを提供するファイルフォース株式会社が、ランサムウェア感染時の対応における課題や有効な対策機能について、実際の事例をもとにご紹介します。
15:20～15:50	 **WG 講演2　釜山公徳　クラウドセキュリティWG** **「Well-Architected Frameworkを活用したセキュリティレビュー」** クラウドをセキュアに利用するためには、考慮しなければならない事項が多岐にわたり、一筋縄ではいかず、頭を悩まされることが散見されます。この課題を解決するために有用なアプローチはいくつもありますが、どれから手をつけるか悩ましいところです。本講演では、課題解決のアプローチの一つであるAWS Well-Architected Frameworkのセキュリティの柱を活用し、クラウド環境をサステナブルなセキュリティ施策を講じるためのポイントをご紹介いたします。
15:50～16:05	**休憩**
16:05～16:35	 **WG 講演3　根塚昭憲　自動化WG** **「規制強化の時代に挑む　～コンプライアンス自動化の最新動向～」** 企業活動のあらゆる側面で自動化が進む中、最近では「コンプライアンスの自動化」が重要なテーマとして浮上しています。 背景には、企業からの情報漏洩、サプライチェーン上のリスク、さらにはAI活用に伴う新たな懸念などを受けて、世界的に規制が急速に強化されている現状があります。これにより、企業は単発的な監査ではなく、継続的かつタイムリーな監査と対応が求められるようになってきました。このような変化に対応するため、従来の人手に頼った対応では限界が見え始めており、テクノロジーの力を活用したコンプライアンス体制の変革が急務となっています。
16:35～17:05	 **スポンサー協賛講演2　西本 昌史氏　株式会社マクニカ** **「生成AI時代におけるメール脅威の進化と防御」** 近年、生成AI を悪用したソーシャルエンジニアリング攻撃や高度なBEC（ビジネスメール詐欺）が急増しています。 これらの攻撃は、既知の攻撃パターンと照合する従来のメールセキュリティでは防ぎきれません。 そこで、本セッションでは「行動パターン」や「関係性」を学習する AI を用いて異常を検知するAbnormal AIによる新しいセキュリティアプローチを紹介します。
17:05～17:35	 **WG 講演4　二木真明　IoT WG** **「企業におけるIoT導入とゼロトラスト戦略」** 様々な機器が内蔵されるマイコンでソフトウエア制御される中、それらをネットワーク化し、インターネット上のサービスと連携させる、いわゆるIoT (Internet of Things) は、望むと望まざるとに関わらず、生活やビジネスの様々な局面に組み込まれ、不可欠のものとなりつつあります。IoTについては、製造側のセキュリティについての検討は進んでいるものの、利用者、特に企業での利用についての考察はあまりありません。また、こうした機器のセキュリティ要件については、まだ各種基準が策定途中、もしくは十分に普及しておらず、利用者が信頼するに足るものかどうかは多くの場合不透明です。近年、企業においては、いわゆるゼロトラスト戦略に基づき情報システムとネットワークを見直す動きが広まっていますが、まさにIoTについても、この枠組みの中に組み込んで考えるべきでしょう。しかし、ゼロトラスト実装は、現実的には様々な理由から困難な場合が少なくありません。原則通りの実装をコストや利便性の制限のもとに行うべきか、一定の妥協を行うべきかは、最終的にはリスクとの天秤になってしまいます。IoT WGでは、こうしたリスクの評価方法についてもこれまで検討してきましたが、現在、それを集大成しつつ、リスクに応じたセキュリティ実装のありかたについての議論を進めています。本講演では、そうした議論の一端をご紹介します。
17:35～17:40	**閉会挨拶・懇親会ご案内　寺尾敏康　CSAジャパン事務局**
17:45～	**懇親会**

＊随時更新しますので、最新版はウエブページをご確認ください。